

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さん及びそのご家族へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	甲状腺眼症における眼窩内壁減圧術の術後に発生した内斜視に対する外直筋前転術の術後成績
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	眼形成・眼窩・涙道外科 (職名) 教授(特任)(氏名) 高橋靖弘
研究の対象となる方	2015年1月1日から2023年12月31日までに当科で眼窩減圧術後に斜視手術を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>眼窩減圧術は甲状腺眼症の眼球突出や甲状腺視神経症に対し行われる手術です。主な術後の合併症として、複視(ものが二重に見える)があります。特に眼窩内壁減圧では内斜視(目が内側にずれる)になりますが、当科ではそれに対し外直筋(目を外に向ける筋)を前転する手術を行っています。本研究では、この術式の手術成績を調べることを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>診療情報の収集目的で、カルテを利用します。またCT画像から、外眼筋(目を動かす筋肉)の太さを調べます。斜視の角度の術後変化量に影響を与える因子を統計学的に分析します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)およびCT画像から、年齢、性別、術式、斜視角度、両眼単一視野に関する情報を収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年10月

は提供を希望しない 場合	31 日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 12314)